

実施要項

江戸東京たてもの園は、都内に存在した文化的価値の高い歴史的建造物を公開している野外博物館としての利点を活かし、古い建物の内部に生活民俗資料を展示することで、それぞれの時代の生活の様子を再現しています。

「昔くらし体験」では、かつて普段の生活の中で使用していた道具を間近で観察することで、その道具を使っていた頃の人々のくらしについての理解を深めることができます。そして、商店が立ち並ぶ東ゾーンではおつかいを疑似体験し、スーパーマーケットがまだ一般的ではなかった時代の買い物を体感します。ぜひ御活用ください。

1 対象

小学校3年生（社会科「市の様子の変り変わり」学習を想定した体験プログラム）

2 実施日時

休園日を除いた平日。原則、週1回実施。（令和6年10月から令和7年3月中旬まで）

10時から12時まで（2時間）

- ・園行事やその他事業等によりお受けできない日があります。
- ・予約した体験日時の変更・延期・予備日の設定はできません。
- ・昔くらし体験以外の園内のご見学は、随時、団体見学にてお受けしております。

3 実施場所

西ゾーン内、東ゾーン内

- ・修繕工事等により、実施場所を変更する場合があります。

4 所要時間

各クラス30分程度

5 受入校数

1日につき1校のみ（100名程度まで）

- ・1校を複数日に分けて実施することはできません。
- ・学級数や児童数の多い学校は、体験を制限する場合があります。

6 体験内容

おつかい体験：園内東ゾーンの商店で、メモに書かれた品物を見つけて購入する「おつかい体験」です。スーパーマーケットがまだ少ないころの、必要なものは専門店で買い物をしていた時代を体感し、現代の暮らしとの違いに思いをはせていただきます。

その他、園内西ゾーン等で使用できるワークシートが利用できます。

※園内移動時の児童の誘導は、付き添いの教職員が必ず行ってください。

7 申し込み方法

令和6年6月下旬よりお電話で申し込みを受付けます（先着順、電子メール不可）。

受付け後に当園昔くらし担当宛てに電子メールを送付してください。折り返し担当より「受付確認、実踏・打ち合わせについて、減免申請のご案内」を電子メールにてお知らせいたします。

8 実地踏査（下見） *必須

昔くらし体験を希望する学校は、開園時間内に実地踏査（下見）を必ず行ってください。

〈事前確認ポイント〉

- ① 実施場所の位置や移動時間、園内トイレの位置や休憩場所、避難場所等
※避難場所については、「12 地震が発生した場合の対応」をご参照ください
- ② 復元建造物の公開状況
例：修繕工事等による閉鎖エリア等
※修繕工事につきましては当園ホームページで最新の情報を必ず御確認ください

※教職員の方が実地踏査（下見）される場合は入園料が無料になります。受付（インフォメーション）にてその旨お申し出いただき、身分証明書など所属のわかるものを御来園される人数分御提示ください。

9 事前打合せ *必須 要事前申し込み

体験内容の詳細や持ち物のほか、昔くらし体験を円滑に実施するためのお願いや注意事項などについてお話しします。調整の上、実施日を決定させていただきます。

10 見学及び体験に際してのお願い

江戸東京たてもの園を御見学いただくにあたり、建造物保存の観点から次の事項につきまして、あらかじめ児童生徒の皆様にご周知いただきますようお願いいたします。

- (1) 江戸東京たてもの園は、東京の歴史や建物について学ぶ博物館です。静かに見学しましょう。
- (2) 見学中は大きな声を出したり、走ったりして、他の人の迷惑にならないよう注意しましょう。
- (3) 建造物内では、飲食はできません。こぼしたりすると大切な文化財を傷めることにもなりますのでやめましょう。
- (4) 園内のものはどれも大切な文化財です。「手をふれないでください」と書いてある展示物には、絶対に触らないようにしましょう。
- (5) パンフレットや園内の注意書きをよく読みましょう。わからないことは園内スタッフに聞きましょう。
- (6) グループに分かれて見学する場合は、グループごとに見学マナーをしっかり守りましょう。

◆当園ホームページ「ご利用案内・アクセス」の下階層「たてもの園からのお願い」には、来園に関する注意事項をまとめています。御参考にしてください。

<https://www.tatemonoen.jp/raien/cautions.php>



園内の見学には、肩掛けタイプの画板(ボード)を御持参されることをお勧めします。



仕上がりは A6 サイズの冊子になります。ハサミを使う際は十分御注意ください。

建物に入る時は、大きな荷物は持たない(預ける)か、もしくは抱えて持つようにしてください。

◆当園 HP「学校関係の方へ」には、A3 用紙に両面印刷をして使える学校向け「江戸東京たてもの園 見学のしおり」を掲載しています。古い建造物を守りながら学ぶために、10 の約束と園内マップをまとめたしおりです。

https://www.tatemonoen.jp/contact/images/tour_guide_booklet.pdf



11 入園料

・児童(小学生)……………入園無料

・引率の教職員……………入園料免除(事前の承認が必要)

※事前打合せ後に、「減免申請書」に必要事項を記入し、体験実施日の14日前までに電子メールにてご申請ください。後日、当園より電子メールにて「減免承認書」をお送りします。

※付添いの保護者やカメラマンは免除対象となりません。入園券をお求めください。

12 地震が発生した場合の対応

(1) 建物の中にいる場合

落下物によるケガ等を避けるため、揺れがおさまるまで建物の外に出ないでください。教職員のみなさまは児童を落ち着かせてください。

(2) 建物を外から見学時や園内を移動中

瓦などが落ちてくる場合がありますので、建物に近づかないでください。

(3) 大きな地震が発生した場合

園内放送が入ります。教職員のみなさまは放送や警備員等の指示に従って児童生徒の避難誘導をお願いします。

※園内の避難場所はエントランス広場及び東の広場(藤棚の前)です。実地踏査(下見)時に必ず御確認ください。

13 その他

(1) 雨天時

雨天の場合でも体験していただけます。雨具(かさ・カッパ等)のお取扱い、紛失に御注意ください。

(2) 飲食可能な場所

園内の復元建造物(全30棟)内は、天候にかかわらず飲食禁止です。飲食は、園内エントランス広場、東の広場、ベンチ設置箇所などを御利用ください。

※東ゾーン内「店蔵型休憩棟」1階は、どなたでもお使いいただけるスペースとなっており、一般のお客様も御利用になります。特定の団体のみでの占有は御遠慮いただいております。譲り合ってお使いください。

(3) 昼食場所の予約

飲食可能な屋内施設は、プレハブ棟(東ゾーン子宝湯北側、定員80名)2階のみです。

※プレハブ棟の御利用には予約が必要となりますので、体験申込時にお申し出ください。

※プレハブ棟1階は園内スタッフが使用しています。机・椅子の移動や昼食時は大きな音をたてないよう御配慮願います。

(4) 事後アンケートのお願い

貴重な情報として今後の博物館運営に活用させていただきます。御協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

<問合せ先>

江戸東京たてもの園 昔くらし体験担当

所在地:東京都小金井市桜町三丁目7番1号(都立小金井公園内)

電話番号(代表):042-388-3300 ファクシミリ番号:042-388-1711

電子メールアドレス(教育普及専用):tatemono.jigyo@edo-tokyo-museum.or.jp